



北広島エルフィン クラスタ―研究会



8月1日、北広島ふるさと祭り会場に、雪だるまが登場しました。真夏に雪だるまなんて、ワクワクするようなことを考えたのは、北広島エルフィンクラスタ―研究会の皆さんです。

北広島にある資源を活用し、まちおこしにつなげようと平成25年に発足。研究会には大学の教授や講師、会社員、学生など、さまざまな立場の人たちが所属しています。

降雪の多い2月、融雪剤などが混じっていない新雪だけを袋詰めにし、雪堆積場に埋め、チップ材を掛けました。それから半年後、会員が見守

る中、シヨベルカーはほぼ原型をとどめた袋を吊り上げました。1袋600kgの雪を10袋、トラックで祭り会場へ。雪だるま3体とスロープを作り、小さな子どもが遊べるコーナーも設けました。

「初の試みで悪戦苦闘しましたが、雪が解けず、子どもたちが喜んでくれて本当に良かったです」と鈴木重政会長。

これからも夏に雪を使ったイベントなどで北広島を広く知ってもらい、ゆくゆくはビジネスにつなげ、雇用が生まれればと考えているそう。今後の活動が楽しみですね。



1 トラックに積まれた雪 2 雪だるまの頭部を彫刻 3 クレーンを使って雪だるまの頭部を胴体の上へ



4 まいピー雪だるま 5 スロープでスノーボード体験 6 雪で遊ぶ子どもたち

まめ記者

元気！ あいさつ！
仲がいい！ 大曲小学校



大曲小学校6年
高森颯大さん
(児童会長)

ぼくたち大曲小学校書記局は、「元気いっぱい」「あいさつが活発」「仲の良い」学校にするため、頑張ってきました。そのため、書記局でいろいろな意見やアイデアを出し合い、実施してきました。運動会では、書記局でキャラクターやスロ―ガンを募集し、盛り上げました。勝つても負けても笑顔で、みんなで取り組める運動会にしよう」のテーマのもと大成功に終わりました。

「1学期振り返り集会」では、全校児童がしっかりと振り返りができるよう、1学期に関する問題を考えてみんなに出しました。集会をやっている時には、全校児童が話している人の方を見て、真剣に聞いていました。ここが大曲小学校のすばらしい所だと思います。これからも全校児童がより良くなるために、書記局は頑張っていきます。

